

天満屋倉敷店 2019年3月の画廊予定

◎ 4階美術画廊

会 期	内 容
2/27(水)～3/4(月)	<p>水森亜土のクワイイ作品展</p> <p>イラストレーター、画家、女優、ジャズ歌手など多分野において活躍されている水森亜土さんの作品展です。日本の代表的なイラストレーターとして活躍されてこられた水森亜土さんの作品は、一般的な画家の世界とは一線を画し、個性豊かで夢のある画風は美術ファンはもちろんのこと世代や時代を超えて幅広く根強い支持を得ています。女性ならではの「クワイイ」世界をご紹介します。油彩・水彩・版画など約30点を出品いたします。</p>
3/6(水)～3/11(月)	<p>天神窯三人展 — 岡本篤・川上節子・岡本和敏 —</p> <p>天神窯は、中国古陶磁に魅せられた故岡本欣三氏が京都で釉薬の研究をした後、昭和26年(1951年)に倉敷市羽島の地に開いた窯です。現在は欣三氏の長男の篤氏、二女の川上節子氏、篤氏の長男の和敏氏の三氏が、先代の築き上げたものを継承しつつ、各々が釉薬の特徴をうまく引き出しながらそれぞれの作風を生み出しています。今展では、玳瑁蓋天目、紫欣釉、青磁、白磁、辰砂、均窯、彩瓷、瑠璃、染付、瑞霞(ずいか)釉、蕙萌(けいほう)釉などなど多彩な釉薬による色使いが特長の天神窯三人による新作約120点を展覧いたします。</p>
3/13(水)～3/18(月)	<p>夢の世界をのぞいてごらん ノブ・サチ油絵展</p> <p>「美しく平和な地球を未来の子供たちに手渡せたら」という願いを込めて夢の世界を描いているノブ・サチ先生の個展を開催します。生き生きとした緑、広い紺碧の海、無限に広がる銀河、無邪気に遊ぶ子供たちや動物たちなど、見ている人を温かい気持ちにさせてくれる油絵約30点を出品いたします。2012年には瀬戸内市立美術館で展覧会を開催され、生命保険会社や製薬会社など大手企業のカレンダーや銀行の通帳の表紙に採用されており、岡山・倉敷でも多くのファンがいらっしゃいます。</p>
3/20(水)～3/25(月)	<p>— 備前響く、備前彩る — 松井宏之作陶展</p> <p>森陶岳一門として活動しつつ独自の陶境を目指し日々研鑽を積んでいる松井宏之先生の新作展です。上智大学大学院修了後、大手証券会社に勤務していましたが、森陶岳氏の作品に魅了され、39歳の時に会社を辞めて備前陶芸センターへ入所。一年の研修を経て2001年から森陶岳氏に師事し、師の新大窯プロジェクトに参加するなど修業を積みまれました。2006年に独立し登り窯を築窯、2008年に初窯を出されました。2018年にはニューヨークやパリで展覧会を開き、海外にも活動の場を広げています。今展では、茶陶、花器、酒器、食器に加え、高性能フィルム・スピーカー、高松漆とコラボした新作など約100点を出品いたします。</p>
3/27(水)～4/1(月)	<p>— 春、咲く — 木原幸子「夢を紡ぐ人形たち」</p> <p>倉敷市茶屋町在住の人形作家・木原幸子先生の新作展です。先生が作るお人形は、布の風合いを大切に布貼りのお人形で、穏やかで温かく、また手仕事ならではの落ち着いた印象の創作人形です。古布などを多用し上品で清楚な顔立ちの作品は多くのファンがいらっしゃいます。今展では、先生らしい洋風のお人形を中心に約40点を出品いたします。</p>

作成：美術画廊担当 国光

営業時間 毎日午後6時閉場

※3/5・12・19・26は閉廊日

いずれも会期最終日は、午後4時に閉場いたします。

お問合せ

天満屋倉敷店 販売計画

TEL 086-426-2205

FAX 086-426-1136

※会期・タイトルは都合により変更することがあります。